

水土里レポート	
投稿月日	令和4年7月11日
タイトル	多面的機能支払交付金当麻中央西区（農村環境保全活動）
水土里レポーター名	当麻中央西区活動組織 小野寺 孝 一
<p>多面的機能支払交付金当麻中央西区活動組織（代表：小林寿男）では令和4年7月9日（土）例年実施している農村環境保全活動（景観形成）を構成員50名が参加し、新型コロナウイルス感染症防止のため、全員にマスクを配布し、密にならないよう離れておしゃべりもしないで移植してくださいとの挨拶後、午前8時前から幹線道路（広域農道）添い550mにマリーゴールドを移植しました。</p>	
  	
<p>その後、舟山仁志副代表から令和3年度多面的機能支払交付金当麻中央西区活動組織で実施した事業内容の説明がありました。</p>	
<p>～田んぼダム～</p> <ul style="list-style-type: none"> 田んぼの水を貯める機能を利用し、田んぼに排水ボックスを年間40～50基設置しています。 	
<p>～鳥獣被害防止対策及び環境改善活動強化～</p> <p>（アライグマ駆除）</p> <ul style="list-style-type: none"> アライグマは農林水産業、生態系、生活環境、財産等への深刻な被害をもたらすため、特定外来生物に指定されており、食性の幅が広く、高い繁殖性をもつため、我がまち当麻町でも大きな社会問題になっています。 <p>そのため、当組織では構成員に箱ワナを貸出して、アライグマ被害防止のため駆除する取り組みを行っている。</p> <p>令和3年度は約40頭のアライグマを駆除したそうです。</p>	